

平成 25 年 5 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社ヴィア・ホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 大場 典彦
(JASDAQ コード番号 7918)
問い合わせ先 氏名 取締役 今井 将和
電話番号 03-5155-6801

ヴィア・グループ中期経営計画策定に関するお知らせ

株式会社ヴィア・ホールディングスは、2014年3月期から2018年3月期までの5ヵ年を対象とするヴィア・グループ中期経営計画『**Dynamic Challenge 500 ～ 新たな成長で、新たなステージへ ～**』を策定しましたので、その概要を下記のとおりお知らせいたします。

記

ヴィア・グループでは、これまで印刷流通事業と外食サービス事業を両輪とし、「既存事業のバリューアップによる基礎収益力の向上」、「本部機能の集中化による価値競争力の向上」、「内部統制の推進によるマネジメント力の向上」を3つの基本戦略としてグループの業績向上に取り組んでまいりました。

東日本大震災後の市場環境の変化に対し、この2年間は堅実かつ収益効率的な経営を実行してまいりました。その結果、収益構造の改革が図れ、営業利益については2期連続での過去最高益を実現することができました。

その間、2011年9月の第三者割当増資により新たな成長の原資を得るとともに、この度、暁印刷が印刷流通事業において新たな成長を目指してグループから独立することとなるとともに、外食サービス事業への経営資源の集中や、お取引金融機関とのシンジケートローンの組成及び新たにコミットメントラインの設定など、事業面と財務面の双方において新たな挑戦に向けてのグループ体制を整えてまいりました。

こうした経緯を踏まえて、今後のさらなる大きな飛躍に向けた、中期経営計画『**Dynamic Challenge 500～ 新たな成長で、新たなステージへ ～**』を策定いたしました。

外食サービス事業では、人口動態といった大きな動きの中での需要構造や消費行動の変化に対して、機敏で的確な対応が求められます。ヴィア・グループは、こうしたお客様の変化に対して、「新たな価値という需要」を創り出し続けることが使命であると考えています。

この度、新たに策定した『**Dynamic Challenge 500 ～ 新たな成長で、新たなステージへ ～**』は、これまで築き上げてきた事業基盤に誇りと自信を持つとともに、さらに圧倒的な強みをもった業態に磨き上げながら、そこから、新たな価値を創り出し続けることに挑戦できる組織に成長を遂げ、新たな「フードサービスのバリューリーダー」への脱皮を目指すものです。

地域に根ざしたお店づくりを基本理念に「ヴィアのファン」、「ヴィアのサポーター」を増やそう、を合言葉としてこれからも経営の改革に努めてまいります。

1. 『Dynamic Challenge 500』の概要

(1) 数値目標

- ① グループ売上高 500 億円（年率 20%の成長）
- ② グループ営業利益 38 億円（5期連続の最高益更新）
- ③ グループ店舗数 1,000 店舗（**最強のローカルチェーンの集合体**）

(2) 戦略方針

- ① 既存業態のブラッシュアップと新規出店の加速化
- ② フランチャイズ店舗の積極開発（含む海外フランチャイズの展開）
- ③ M&Aによる経営資源の強化とドミナント形成の推進

(3) 市場価値（株式価値）の向上に資する体制整備

- ① 事業投資に係る戦略的合理性の確保とリスクコントロール
- ② 経営監督・意思決定・業務執行の体制強化と推進
- ③ ミドルマネジメント層の育成
- ④ 財務基盤のさらなる強化と適時適切な資本施策の実施

2. 戦略方針

(1) 既存業態のブラッシュアップと新規出店の加速化

顧客価値の追求を業態政策の中心に据えて、リニューアル・リモデル・リプレイスという視点から、業態を磨きこんでまいります。既存店が支持され続けていることを基礎とした、健全で強固な経営基盤を築き上げるとともに、新たに5年間で180店舗の新規出店を行ないます。

(2) フランチャイズ店舗の積極展開（含む海外フランチャイズの展開）

現在フランチャイズ加盟による店舗はグループ全体において、国内で87店舗展開していますが、今後は新たに国内出店の強化に加え、東南アジア圏を中心とした海外フランチャイズ加盟による出店も考慮し、合計80店舗の新規出店を行ないます。

(3) M&Aによる経営資源の強化とドミナント形成の推進

これまでのM&Aにおける当社グループの経験を十分に活かし、当社グループが保有する既存業態の競争力の強化と補完に資する「立地」、「人財」、「ドミナント」及び「ネットワーク」の取得に主眼をおいてM&Aを検討してまいります。

3. 市場価値（株式価値）の向上に資する体制整備

(1) 事業投資の戦略的合理性の確保とリスクコントロール

グループ横断組織として新たに立ち上げた「総合開発本部」にて、出店・リニューアル・リモデル・リプレイスといった店舗投資やドミナント獲得に向けたM&A等の事業投資を一元化いたしました。また、グループ基準に基づく業態・店舗の出店及び退店の厳格運用と意思決定の迅速化を図ります。

(2) 経営監督・意思決定・業務執行の体制強化と推進

戦略的な事業単位（ドミナント・業態等）への適切な権限委譲を進めることにより、意思決定や業務執行の適正化と迅速化を図ります。ヴィア・ホールディングスは、情報の積極活用と迅速なフィードバックにより、経営監督の役割を担い、中期経営計画の進捗確認と積極支援を行なってまいります。

(3) ミドルマネジメント層の育成

中期経営計画の推進を通じ、事業活動において中核となるミドルマネジメント層の育成をこれまで以上に進め、多様性をもった強い人財集団をつくり上げます。また、各個人と組織全体のそれぞれの活力創出に向けて、グループの職務、教育、評価、報酬における人事処遇制度を再構築してまいります。

(4) 財務基盤のさらなる強化と適時適切な資本施策の実施

シンジケートローンの組成やコミットメントラインの設定等、財務基盤の安定化を踏まえ、借入金を最適資本構成の見地から 90 億円前後に圧縮いたします。また、今後の成長路線に向けた資金調達の安定性と機動性を確保するため、一層の自己資本の充実と安定に向けた対策を行なってまいります。

以 上